

## 編集後記

CEng (Chartered Engineer) という資格をご存じでしょうか。「世界一取得が難しい」とも言われる英国の技術者資格です。その制度は、日本の技術士や米国のPEとは少し異なっているそうです(日米の制度は諸誌で紹介されて周知だと思いますので省略します)。

CEngの資格は、その登録機関であるECUK(The Engineering Council UK)の公認学術団体(以下、団体)に入会できれば自動的に取得できます。それらの団体に入会するには、

① ECUKの認定大学から優秀な成績(独自基準で評価)で学士を取得した後に修士(飛び級の修士も可ですが、博士の有無は評価の対象外)の学位を取得する。

② 数年間 Engineer としての実務経験を積む。

③ 2名以上(団体による)のCEngから身元保証を得る。

④ UK-SPEC(UK Standard for Professional Engineering Competence)に基づく書類審査を受ける。

⑤ 英語での面接試験を受け、面接官から団体への入会推薦を得る。という手続きが必要だそうです。

①は「学力試験」の代替と思いますが、学部での優秀な成績と修士の学位が必須なのは特徴の一つでしょう。また、英国以外で取得した学位は、教育課程の同等性を証明するために、シラバスや学位論文の英訳が必要だそうです。②の実務経験では、主に「技術や技術者、さらに社会をリードする能力」が問われるそうで

す。③では、UK-SPECに基づいた身元保証人による能力、社会的信用、さらに品格の評価があるそうです。そして、CPDと倫理規定の誓約書、開発計画書等を含む提出書類に1名の身元保証人から確認の署名を得て申請します。④のUK-SPECに基づく「厳密、厳正かつ厳格な書類審査」に合格すると⑤の面接試験となります。面接試験では、2名の面接官(CEng有資格者で1名は必ず英国籍)から2時間以上かけて申請内容に関して多角的に繰り返し紳士的に質問される(虚偽は必ず露見する)そうです。そして、両方の面接官がUK-SPECに基づき「CEngに相応しい」と認めると、彼らの推薦を受けて団体に入会できます。入会と同時にECUKに登録され、晴れてCEngと名乗れます。

こう説明されると、CEng制度は「リーダーは一貫教育で育てる」「紹介が無いと、無人島で2人きりでも言葉を交わさない」等の英国人気質を反映し「世界一取得が難しい」と言われるのも理解できますし、「CEng制度は技術者を対象とした『紳士認定制度』では?」とも思えてきます。

さて、今回の橋梁特集は如何でしたか? 橋梁分野では、建設、維持、災害対応、移設、補修等にまだ課題が残されており、官民学で種々の試みがなされています。また、橋梁模型コンテスト等を通じて若い方々が橋梁に興味を持ち、これらの課題に取り組んで頂ければと思います。

最後に、執筆者をはじめ関係諸氏に誌面を借りてあらためて御礼申し上げます。

(高津・石戸谷)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
上東 公民	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

### 編集委員長

岡崎 治義 (社)日本建設機械化協会

### 編集委員

森川 博邦	国土交通省
浜口 信彦	国土交通省
山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
圓尾 篤広	(株)高速道路総合技術研究所
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
平子 啓二	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
宮崎 貴志	(株)竹中工務店
泉 信也	東亜建設工業(株)
齊藤 徹	(株)NIPPO コーポレーション
高木 幸雄	日本道路(株)
宮路 勝善	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
久留島匡繕	五洋建設(株)
藤田 一宏	施工技術総合研究所

### 6月号「建設施工の環境対策特集」予告

- ・「環境行動計画2008」について
- ・道頓堀川水辺整備事業と環境対策
- ・アールキュービック土壤洗浄システム
- ・防音対策シミュレータの開発
- ・油分汚染土壌のバイオレメディエーション
- ・ランドファーマーミングとファイトレメディエーション
- ・ダンボールダクト
- ・凍結技術を用いた水中部の仮設ドライアップ工法
- ・過熱水蒸気による油汚染土壌浄化技術
- ・REACH対応の動き
- ・脱水ケークリサイクル装置
- ・鋼製箱桁内面防錆システムの実橋適用
- ・航空機を使った環境調査

## No.711「建設の施工企画」 2009年5月号

[定価] 1部840円(本体800円)

年間購読料9,000円

平成21年5月20日印刷

平成21年5月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322